

2026 7月

鷹栖町図書室に新しく入った本

(6月分より)

たかす(一般)

『IDOL』(町屋良平／太田出版)

『豆は煮えたか』(朝井まかて／文藝春秋)

『謎の香りはパン屋から 2』(土屋うさぎ／宝島社)

『ぼけていく私』(佐藤愛子・響子／文藝春秋)

『並行世界にも朝』(柳澤美晴／亜紀書房)

『海をわたる言葉』(クオナミ・村井理子／集英社)

『海峡の向こうの隣人たち』(三谷将／花伝社)

『草花つくりで稼ぐコツ』(菅家博昭／農山漁村文化協会)

『はじめての健康マージャン教室』(川島隆太 監修／Gakken)

☆新しく入った本は他にもございます。

図書室では新着図書のリストを配布しております。また、鷹栖町図書室の蔵書検索から探すこともできます。



『眠れぬおまえに遠くの夜を』(桐野夏生／文藝春秋)

『けんぐわい』(朝倉かすみ／光文社)

『異常に非ず』(桜木紫乃／新潮社)

『森島章子は人を撮らない』(秋永真琴／東京創元社)

『はじめてのオイルパステル』(Dan／グラフィック社)

『テイラー・スウィフト』(ロブ・シェフィールド／作品社)

『サッカー日本代表アタッカー動作解析図鑑』(三浦哲哉／カンゼン)

たかす(児童)

『ねずみくんの花ことば』(上野紀子／ポプラ社)

『おぼけのそこちから』(山本孝／岩崎書店)

『いたずらからす』(さとうわきこ／福音館書店)

『やさいぐぐぐん』(金内織恵／童心社)

『幕末の宙』(斉藤洋／偕成社)

『ホタルのことばが知りたい』(大場裕一／くもん出版)

『とどけ!ニモツくん』(ミノオカリヨウスケ／鈴木出版)

『たんたんたなばた』(西村敏雄／白泉社)

『かぶとむしがにげた!』(たしろちさと／福音館書店)

『オレはカナヘビ オレの庭』(松橋利光／アリス館)

『ぼくのとなりにマヤがいた』(久保田里花／理論社)

『へんな学部』(西岡吉誠／笠間書院)

きたの(一般)

『日本買収』(牛島信／幻冬舎)

『ウイルス』(真山仁／潮出版社)

『血塗られた指輪』(キンバリー・ベル／早川書房)

『働く人が減っていく国でこれから起きること』(河田皓史／朝日新聞出版)

『家に帰ったらクマがいた』(米田一彦／PHP研究所)

『センスのいいうつわの選び方』(菅野有希子／エクスナレッジ)

『爺さんバイク奮闘記』(佐東敏三郎／ヘルプ・デスク)

『コズミック・ガール』(伊与原新／文藝春秋)

『ノスタルジア』(島本理生／河出書房新社)

『練馬純情伝』(吉森大祐／講談社)

『日本一わかりやすい「デジタル終活・遺品の探し方」実践ガイド』

(末吉謙佑／イースト・プレス)

『せかいのスズメ』(小宮輝之 監修／カンゼン)

『老後に4000万円って本当ですか?』(山崎俊輔／日経BP日本経済新聞出版)

きたの(児童)

『パンダのおさじとぱんだっちゃん』

(柴田ケイコ／ポプラ社)

『いいえいえです』(tupera tupera／白泉社)

『ゴーストライン』(カチャ・バーレン／評論社)

『赤白帽のなぞ』(七江亜紀／東京書店)

『いっしょにえんそく』(松田奈那子／理論社)

『ほんをよむいぬ』(キムミヌ／303 BOOKS)

『本ってこんなにおもしろい!』

(主婦と生活社 編／主婦と生活社)

『モノの数えかた事典』(こざきゆう／ポプラ社)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～



図書室だより

鷹栖町図書室の夏は
楽しいイベントがたくさん!

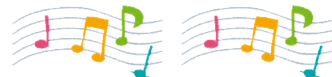
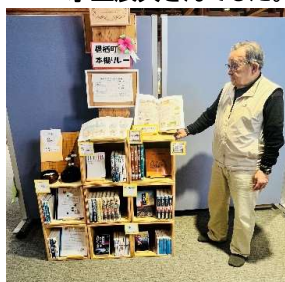
8月1日(土)は小学生向けの「ボードゲームであそぼう!」
(7月4日(土)より申し込み受付開始)

8月22日(土)は高校生以上向けの料理教室
「ぢまさん直伝! farm 310さんの夏野菜活用レシピ」
(7月25日(土)申込受付開始)を予定しています。

どちらも楽しく遊んだり学んだりできる内容となっていますので、ぜひご参加ください。詳しい内容や申込方法については、図書室までお問い合わせください。



6月の本棚リレーは
水上辰夫さんでした。



6月の音楽のある図書室は
rikoさんによるギターとうたの予定でしたが、諸事情により、急遽中止となりました。
楽しみにしてくださった皆さま、大変申し訳ありませんでした。

7月の音楽のある図書室は7/17(金)
blancheさんによるフルート三重奏の
予定です。
どうぞお楽しみに♪